



【3・4年総合「伝えよう！外海の魅力」】

総合的な学習の時間に脱穀、もみすり、精米を行いました。自分たちだけで精米までするのは難しいということで、「師匠」と仰ぐ地域の方に協力を依頼したところ、軽トラに「足ふみ脱穀機」「とうみ」「もみすり機」「精米機」を積んで学校まで駆けつけてくださいました。

子どもたちは初めて見る道具に興奮しながら、使い方を師匠に教わって、自分たちの手で精米まで行いました。そして、心を込めて育てた稲が見る見るうちに姿を変え、白いもち米になっていく様子に喜びと達成感を味わうことができました。それと同時に、自分たちのために時間を取り、重たい道具や機械を運んでくださった師匠に感謝の気持ちをもつことができました。普段は見ることも使うことも少ない道具を使う貴重な体験となりました。

11月は、畑で育てた芋を掘って、いよいよ「かんころ餅」作りです。



【5年国語科「よりよい学校生活のために」】

国語科では、身の回りの問題について話し合い、それぞれの立場から考えを伝え合う学習を行いました。

まず、話し合う議題を決めるために、自分たちの生活を振り返ったり、校内を回って問題点を探したりしました。そして、いくつかの候補の中から、「図書室でたくさん本を借りるためにはどうしたらよいか。」という議題について話し合うことになりました。

次に、パソコンのアプリを使って、一人一人が画面上の付箋に「現状と問題点」「解決方法」「理由と根拠」を整理して、互いの考えを出し合いました。

理由や根拠を明確にして話し合う姿、互いに質問し合って相手の考えをより詳しく引き出そうとする姿、自分たちの意見を整理してまとめていく姿に成長を感じることができました。